

実用外国語演習 (英語)

2 単位 (選択) 3 年 (後期)

山内 暁彦・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】『実用外国語演習 (英語) 総論』を参照。

【授業概要】ビデオ教材を使って英語の基本的運用力の向上を図る。アメリカの連続ドラマの視聴によりネイティブ英語に慣れ、口語的な語彙やフレーズを習得する。授業ではスクリプトを利用する。自宅での学習として短いディクテーションを随時宿題として課す。コメディー仕立てのドラマであるので、台詞の可笑しさを理解し、アメリカの日常生活や文化にも触れる。

【キーワード】リスニング、ディクテーション

【履修上の注意】2010 年度に実用外国語基礎演習 (英語) を受講済みであることが望ましい。2011 年度に実用外国語演習 (英語) のネイティブクラスを受講していることが望ましい。

【到達目標】日常的な英語表現を習得すること。

【授業計画】

1. イントロダクション
2. エピソード 1(その 1)
3. エピソード 1(その 2)
4. エピソード 1(その 3)
5. エピソード 1(その 4)
6. 中間テスト 1
7. エピソード 2(その 1)
8. エピソード 2(その 2)
9. エピソード 2(その 3)
10. エピソード 2(その 4)
11. 中間テスト 2
12. エピソード 3(その 1)
13. エピソード 3(その 2)
14. エピソード 3(その 3)
15. エピソード 3(その 4)
16. 後期試験

【成績評価】後期試験 30%、2 度の中間テスト各 25%、授業に取り組む姿勢や課題の提出状況などの平常点 20%により総合的に評価する。

【再試験】行なう。

【教科書】教科書は使用せず、プリントを配付する。各自プリントの管理を確実にすること。

【参考書】参考資料については授業中に指示する。各種ハンドアウトを随時配布する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220087>

【連絡先】

⇒ 山内 (3308, 088-656-7132, yamauchi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日 12時~ 13時)

【備考】後期、木曜日 3~ 4 講時。旧カリ「実用英語演習 II」と同内容。